

【事例 H28-45】長崎県

多重債務者等のメンタルヘルス無料相談事業

【概要】多重債務等の経済・生活問題とメンタルヘルスの問題を抱えた方を対象に、法テラス等の無料相談窓口との連携により、県看護協会に委託したメンタルヘルス無料相談（保健師）を紹介。その中で精神科受診が必要とされる方に対し、契約してある精神科クリニック等の医療機関無料相談券を発行し、受診につなげることで、自殺防止を図った。

【実施主体】長崎県福祉保健部障害福祉課

【大綱の分類】6) 社会的な取り組みで自殺を防ぐ

【事業予算】 1,036 千円（H27 年度）

【利 点】

- ▼多重債務問題だけでなく、生活問題、うつ病等、様々な相談においてもメンタルヘルス相談へ繋がっている。
- ▼法テラスでの無料相談会と連動しており、相談者への負担が少ない。
- ▼弁護士会・司法書士会の総会で毎年本事業について周知を行い、連携を図っている。

【実施に至るまで】

実施の経緯

- ①本県では、平成13年から18年まで「経済・生活問題」が原因での自殺が、全体の約1/3を占め1位であった。
- ②多重債務等経済的問題は、深刻なこころの悩みを引き起こしたり、心の健康に変調をきたしたりして、自殺の危険を高める要因となる。そのため、多重債務相談機関等への相談者のうち、メンタルヘルスケアの必要な相談者を、効果的に精神科受診につなげていくことを目的として、平成20年7月から県看護協会に委託して開始。

相談の流れ

- ①多重債務相談機関等窓口担当者が、相談者にメンタルヘルス相談の紹介をする。また、県消費生活センター、県弁護士会に所属する弁護士及び県司法書士会に所属する司法書士については、相談開催日であればメンタルヘルス相談の紹介ができる。
- ②希望される方に、法テラス長崎に配置された看護協会の保健師が、メンタルヘルス相談に対応する。
- ③相談者のうち、精神科医師への相談が必要とされる方に対して、あらかじめ契約している県内18箇所（離島含む）の精神科クリニックを紹介、無料相談券を交付する。

(相談者の希望があれば、メンタルヘルス相談員がクリニックに電話、予約を入れる。)

④相談者が無料相談券を使用し、精神科クリニックの受診につながる。

(無料相談券は初回のみ有効)

【相談開設日時・開置場所】

長崎の多重債務相談機関 合計週 2 日

法テラス長崎 毎週月曜日 13:30~17:00

※開設場所：法テラス長崎

県弁護士会 毎週火曜日 13:30~17:00

※開設場所：法テラス長崎

【成 果】

▼県内における自殺者の減少

(平成19年：406人→平成27年262人)

▼原因・動機別で見ると「経済・生活問題」は大幅に減少

(平成19年：102人→平成27年：33人)

▼景気動向の回復、貸金業法の改正や無料相談窓口の増加により、本事業における相談数、無料相談券発行件数も減少。それに伴い平成20年度開始当初は相談員配置機関が5箇所であったが、平成27年度は2箇所に縮小。平成28年度は1箇所に縮小

・相談数(平成20年度：38件→平成27年度：10件)

・無料相談券発行件数(平成20年度：8件→平成27年度：3件)

【補 足】

ご相談者の皆様へ

保健師による無料健康相談
を実施しています。

こんなことはありませんか？
誰かと話すことで、少し気分
が変わるかもしれませんよ。

- 疲れやすくなった。体調不良が続いている。
- 寝ているのに醒れない日が続いている。
- 食欲がない。ごはんが美味しくなくなった。体重が減った。
- 理由もなくイライラし、落ち着かない。
- 気分が晴れない状態が続く。理由もなく不安になる。
- 集中力がなくなった。仕事へのやる気が落ちた。
- 新聞やテレビが面白く感じなくなった。
- やる気が出ない。
- ギャンブルや買い物、飲酒などやめられない行動がある。

■相談日時：毎週月・火曜日 13:30~17:00
(祝祭日、年末年始を除く)

■場 所：法テラス長崎(長崎市東町1-25 長崎MSビル2F)

【お問い合わせ先】長崎保健福祉保健師健康相談室 電話 095-895-2456

保健師による相談をお受けになった方へ、専門の医師への相談をおすすめすることがあります。その場合、初回の相談が無料となる無料相談券を交付しています。詳しくは、担当の保健師にお尋ねください。

長崎県

本事業は長崎県の事業です。

こころの健康度チェック

最近の生活の様子について、チェックしてみてください。

項目	日	頻度
1 毎日の生活が充実していない。		2項目以上
2 これまで楽しんでやっていたことが、今は楽しんでできない。		
3 以前は案外できていたことが、今ではおっくうに感じられる。		
4 自分自身に立つ人間だと考えることができない。		
5 わけもなく(寝た)ような感じがする。		
6 死について何度も考えることがある。		1項目以上
7 気分がひどく落ち込んで、自殺について考えることがある。		2項目以上
8 最近ひどく困ったことや、つらいと感じたことがある。		

スメントがあまり健康度が落ちているようです。いちど、誰かと話してみませんか？

相談窓口一覧

心の健康・身近な精神医療機関の相談

長崎こども・女性・障害者支援センター	095-846-5115	9:00~17:45(月~金)
西 康 健 療 所	095-856-0891	
嵐 火 災 健 療 所	0957-29-3204	
嵐 南 康 健 療 所	0957-42-3287	
豊 北 康 健 療 所	0950-57-3433	
五 島 康 健 療 所	0959-75-3125	
上 五 島 康 健 療 所	0959-42-1121	
豊 後 康 健 療 所	0959-47-0280	
対 馬 康 健 療 所	0929-92-0166	
長 崎 市 康 健 療 所	095-829-1153	
定数超過対応センター	0959-24-1111	

緊急連絡先電話番号の相談

長崎精神科救急センター	0957-53-3882	24時間(年中無休)
-------------	--------------	------------

医療費(薬費・ギャンブル)の相談

長崎こども・女性・障害者支援センター	095-846-5115	9:00~17:45(月~金)
--------------------	--------------	-----------------

自殺予防の専門家からの相談

NPO法人自殺相談支援ネットワーク	info@re-network.jp	
-------------------	--------------------	--

自殺予防の専門家からの相談

長崎いのちの電話	095-842-4343	9:00~22:00(年中無休)
----------	--------------	------------------

【課 題】

- ・無料法律相談窓口における多重債務に関する相談は年々減少しており、社会情勢や他の相談窓口の充実により一定の効果があったものと思われるが、関係者連絡会議では、「本当に窮地に陥っている人は、相談窓口までたどり着かない」「事業自体を知らない人も多い」との意見があった。普及啓発、広報活動の強化のみに留まらず、相談者が来るのを待つだけでなく、事業展開の方法を見直す時期に来ているのではないかと思われる。

【事業種別】	相談窓口設置
【準備期間・人数】	6ヶ月・相談員 2名
【予防段階】	1次、2次予防
【自治体規模】	人口 137,7万人 財政規模 6,928億円
【自治体負担率】	1/2(地域自殺対策強化交付金を活用)
【事業対象】	多重債務等の経済的な問題を抱えている方
【支援対象】	同上
【実施主体・問合せ先】	長崎県福祉保健部障害福祉課 TEL : 095 (895) 2456

※データは全てH27年度時点のもの

【参考資料・文献】

- ・長崎県HP

<http://www.pref.nagasaki.jp/object/kenkaranooshirase/oshirase/103380.html>

- ・長崎県看護協会 <http://www.nagasaki-nurse.or.jp/>

- ・長崎県弁護士会 <http://www.nben.or.jp/>